UNITEX
The Innovator, Computer Storage

CMT 運用継続 / 移行 プログラム Digest

メインフレームの世界において1984年の登場以来1/2インチCMTはオープンリール磁気テープの後継として広く利用されてきました。
データ保存用途のみならず小型で堅牢なカートリッジの可搬性の高さから金融機関を始め多くの企業でデータ交換用途で利用されています。
スタンダードとなった1/2インチCMT装置も各メーカーでの製造、販売が終了となりCMT媒体に関しても製造終了となったことで、メインフレームユーザは次世代媒体への移行が急務となりました。
その移行過渡期のさまざまな問題解決を強力にサポートするのが、CMT運用継続/移行プログラムです。

CMT装置の レンタル

スポットから長期レンタルまで、
多様なメニューがございます!

CMT装置の 保守継続

CMT装置の継続運用を総合的に
手厚くサポートします!

CMT装置のリプレース

当社製品のみならず、他社販売
製品も手厚くサポートします!

CMTから LTOへ移行

TapeTRAN5データ変換
ソフトウェアを活用!

CMT資産を活かす マイグレーション

マルチメディア MCS3500への移行

メインフレームチャネル接続 LTOテープ装置 OMS4000M-LT

CMT 運用継続 / 移行プログラム Digest

CMT装置のレンタル

スポットから長期レンタルまで、
多様なメニューがございます!

長期レンタルから月単位スポットレンタル

現行CMT運用から他媒体への移行または伝送化までの移行期間をCMTレンタル機で並行運用。移行システムの本番開始までを万全の保守体制でサポートします。
なお、レンタル期間につきましては月額短期スポットレンタルから年額複数年の長期レンタルまで、お客様の用途に合ったレンタルプランをリーズナブルな価格でご提案。
さまざまなレンタル期間および保守サービスレベルに柔軟に対応いたします。

CMT装置の保守継続

CMT装置の継続運用を
総合的に手厚くサポートします!

お客様の状況に応じてCMT装置の継続運用を総合的にサポートします。

CMT装置継続運用のサポートプログラム「TapeCare」は、単純な保守延長のみでなく、互換装置へのリプレースなどを含めたCMT装置の継続運用を総合的にサポート。24時間×365日、12時間×365日、平日 9-17時からお客様の運用に合ったサービスレベルをご選択いただけます。

CMT装置のリプレース

自社製品のみならず、
他社販売製品も
手厚くサポートします!

CMT運用のニーズは、各業界で今なお根強く残っています。

当社は1990年創業当初より現在に至るまで金融、官公省庁をはじめ数多くの企業様にCMT装置を販売して参りました。製造メーカーが製造・販売・保守の終息を発表するなか、当社はCMT装置の安定供給およびサポートを実現しています。
リライタブルのDVDメディアやLTOテープへの移行も始まっていますが、CMT運用継続を望む声は依然として多く見られます。

CMTからLTOへ移行

TapeTRAN5 データ変換
ソフトウェアを活用!

TapeTRAN5データ変換ソフトウェアを活用したCMTからLTOへ移行と共存

FASTtape/LTシリーズは、マルチプラットフォーム環境でのデータ交換を強力にサポートするユニテックス独自のソフトウェア"TapeTRAN-LTO"とUSBまたはSAS接続LTOドライブとを組合わせたデータ交換用システムです。現在までコンピュータ磁気テープ運用の主流となっていた3490Eカートリッジテープメディアの I/O処理を高速・大容量のLTOメディアを介して容易に安全に行うことができます。

CMT資産を活かすマイグレーション

スタンドアロンシステムで約3,000巻の磁気テープメディアを1巻のLTO-6に集約

サーバおよびネットワーク帯域に負荷をかけず、アプリケーションに依存しないスタンドアロンシステム。
自社開発のマイグレーションソフトウェアにより、記録イメージをそのままTape to Tapeでコピー、またはTape to Optical Diskにマイグレーション。
簡単操作でバックアップテープの複製、システム更改時の磁気テープマイグレーション作業に最適です。
永久保管データ等、蓄積された数千、数万本におよぶ磁気テープメディアは、広い保管スペースを占有しています。これらレガシーメディアのLTO等最新の大容量メディアへの集約を実現します。

マルチメディアコンバータ MCS3500へ移行

マルチメディアコンバータ「MCSシリーズ」への移行による CMT運用継続と次世代媒体への移行

従来のチャネル接続CMTをMCS3500に移行することで遠隔地でのCMTオペレーションを可能に。
MCS3500はLAN接続によりホストコンピュータとのデータ送受信をFTPまたはHULFT等を使用して行います。そのため、設置場所を選ばずWAN越しの遠隔地運用もチャネルエクステンダーを用いる事なく容易に低コストで実現します。

メインフレームチャネル接続 LTOテープ装置 OMS4000M-LT

OMS4000M-LT メインフレーム チャネル接続磁気テープ装置へ移行

OMS4000-LT は、IBM(ESCON)、富士通(OCLINK)のチャネルインターフェイスにダイレクトアタッチ可能なLTOテープ装置です。従来メインフレームで運用されてきたCMTメディアからLTOメディアへの移行に最適です。現行のCMT運用をそのままに次世代磁気テープであるLTOへ移行します。
LTOカートリッジテープは可搬型ですので遠隔地保管や副センターでの利用が可能で災害対策用として有効です。

※ 記載の会社名、商品名、ソフトウェア名は各社の商標あるいは登録商標です。 ※ 記載の内容、仕様、デザインなどは予告なく変更されることがありますのでご了承ください。

15090000

UNITEX
株式会社 ユニテックス
http://www.unitex.co.jp

営業本部 〒194-0021 東京都町田市中町2-2-4 ユニテックスビル
TEL:(042)710-4630 FAX:(042)710-4660

関西営業所 〒600-8813 京都府京都市下京区中堂寺南町134 KRP2号館
TEL:(075)325-1770 FAX:(075)325-1880

お問い合わせ先